

# 保健体育科 学習指導案

府立 ○○ 高等学校

授業者 ○○ ○○

1. 日 時 令和○年○月○日 (○) 第○時限
2. 場 所 グラウンド
3. 学年・組 第2学年○組 (○名)
4. 科 目 体育
5. 単元名 球技 (ゴール型：サッカー)
6. 単元の目標 (学習指導要領より)

## (1) 【知識及び技能】

球技 (サッカー) について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。

ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防することができるようにする。

## (2) 【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己やチームの課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。

## (3) 【学びに向かう力、人間性等】

球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

## 7. 教材観

サッカーは、小学校・中学校でも扱われる種目であり、生徒はすでに「安定したボール操作」や「空間を作り出す」などの基礎的な技能は身に付いている。そのため、高等学校におけるサッカーは、これらの既習内容を基盤として、より高度な技能の習得や戦術理解へと発展させやすい種目である。本単元では、基本的なプレイを楽しむながら、サッカー特有のパス・ドリブル・シュートなどを用いた「空間への侵入などからの攻防」や「状況に応じたボール操作」、「空間を埋めるなどの動き」などの技能を高めることをめざす。これらの技能をゲームの中で活用することで喜びや達成感を味わうことができる。

さらに、サッカーは「オリンピック」「パラリンピック」「ワールドカップ」など世界的な大会が開催される競技であり、競技人口も多く社会的関心が高い。近年では「歩いて行う」「ウォーキングフットボール」のように、ルールを調整して誰もが楽しめる形で実施されるなど、多様な楽しみ方が広がっている。これは、動作・フォーメーション・作戦・ルールの工夫など、チームや個人の課題を発見し、解決する学習の参考になる要素が豊富であることを示している。

このような特性から、サッカーは課題の発見とその解決方法の共有、全員が楽しむことができるルールづくりなどに取り組みやすい種目である。また、「する、みる、支える、知る」といった多様な関わり方を引き出しやす

く、高等学校卒業後も生涯にわたり親しむ機会が多いことから、「豊かなスポーツライフの継続」にもつながりやすい。

## 8. 生徒観（略）

## 9. 指導観

本単元では、ゴール型に関する技能の向上だけでなく、全員が楽しめるゲームづくりを実現するためにルール等を調整する学習を取り入れる。これにより、生徒が状況に応じて判断する力や仲間と協働して課題を解決する力の育成をめざす。生徒には、体力や技能、経験に差がみられるため、一律の技能習得を目標とするのではなく、チームや自己の課題に応じて学習を進めることができる自由進度学習を導入する。自由進度学習では、生徒が自らチームや自己の課題を把握し、必要な練習内容を選択しながら技能の向上を図る。また、ゲーム中のプレイを振り返り、その成果と課題を分析する過程を重視する。その際、目標設定と振り返りの時間を確保し、生徒が学習の見通しを持って取り組めるようにする。これにより生徒が自己調整を行いながら、主体的に学びに向かう態度を育成することをねらいとする。

## 10. 単元（題材）の評価規準（学習指導要領より）

知識・技能【a】	思考・判断・表現【b】	主体的に学習に取り組む態度【c】
○知識 ①競技会で、ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、言ったり書き出したりしている。 ○技能 ①空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 ②シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができる。 ③侵入する空間を作り出すために、チームの作戦に応じた移動や動きをすることができる。	①チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ②チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。	①球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②フェアなプレイを大切にしようとしている。 ③危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。

## 11. 単元（題材）の指導と評価の計画（全10時間）

【別紙記載】

## 12. 本時の展開

### (1) 本時の目標

フォーメーションやポジション、作戦における課題を発見し、その課題に対する解決策を他者に分かりやすく伝えることができるようになる。

### (2) 本時の評価規準

チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。[b]

### (3) 本時の準備物

タイマー、ホイッスル、ゼッケン、振り返りシート、iPad

### (4) 本時の学習過程

時間	学習内容	生徒の学習活動	教員の働きかけや 生徒に投げかける問い	予想される生徒の姿	評価規準 (評価方法等)
導入	ミニゲーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを確認する。</li> <li>・本時の目標を意識し、前時の学習をいかし、ミニゲームに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の振り返りで「空間を活かすこと」に課題が多く挙がっていたことを伝える。</li> <li>・本時の目標を意識し新たなプレイに挑戦するように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に決めた、「全員が楽しむためのルール」を挙げている。</li> <li>・「空間を活かす」ためのプレイや作戦に話し合っている。</li> <li>・目標や課題を意識し、主体的に新たなプレイに挑戦している。</li> </ul>	
展開	課題解決学習 (フォーメーション・ポジション・作戦)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニゲームの内容を主観と動画をもとに客観的に振り返り、成果や課題を検証する。</li> <li>・状況に応じた、チームや自己の役割について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自己の得意なプレイをチームに還元するには、どのようなポジションが適しているか、どのような作戦が考えられるか」と問いかける。</li> <li>・必要に応じて、生徒が気づきにくい、空間の活用場面や技能が発揮されていた場面、チームの連携が取れていた場面を説明し、フォーメーションやポジション、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験したことや動画などを基に、ミニゲームを振り返り、成果と課題を検証している。</li> <li>・次のゲームに向けて、攻撃重視や守備重視などのフォーメーションや仲間の得意なプレイを基にポジションを決めている。</li> <li>・作戦について、意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。[b]</li> <li>振り返りシート、観察</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合った内容について、実践し確認する。</li> </ul>	<p>作戦を決めるためのヒントを与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践の中で考えることを促す。</li> </ul>	<p>見を出し合っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合った内容を實現できるように、試行錯誤しながら実践している。</li> </ul>	
まとめ	<p>健康観察、整理運動、用具の片づけ、本時の振り返り、次時の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理運動を行う。</li> <li>用具の片づけを行う。</li> <li>本時の目標に対する自己評価を振り返りシートに記入する。</li> <li>次時の目標を記入する。</li> <li>体調を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急に心拍数を落とさないよう声かけを行う。</li> <li>用具に不備がないかを確認しながら、片づけるように促す。</li> <li>本時の成果や課題を伝える。</li> <li>ケガ等不調があれば、申し出るように声かけをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に応じた整理運動をしている。</li> <li>点検表を基に、用具に不備がないか確認しながら、片づけをしている。</li> <li>本時の成果や課題について、積極的に意見交換をしながら、振り返りシートに取り組んでいる。</li> <li>達成感を味わい、次回の目標を立てている。</li> <li>体調管理の最終チェックをペアで実施している。</li> </ul>	

(5) 観点別学習状況の評価の判断基準

判断基準 評価規準	「十分満足できる」状況 (A)	「おおむね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況 (C) と判断される生徒に対する指導のてだて
<b>【b】</b>	自己や仲間の得意なプレイについて、主観的な分析に加えて動画等を用いた客観的な分析も行い、その結果ふまえて、チームの特徴に応じたポジションや作戦を提案することができている。	自己や仲間の得意なプレイについて主観的に分析し、その分析をもとにチームの特徴に応じたポジションや作戦を提案することができている。	<p>巡回指導を行い、チームや自己の良かったプレイ、または挑戦したいポジションを一緒に確認しながら、チームの特徴に応じたポジションや作戦を提案できるように適正な声かけを行う。</p>

